

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 009	提案機関名 就農参入支援課
要望問題名 県内土壌のカドミウム分布状況と土壌中カドミウム動態の把握と解析	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 本年2月には食品衛生法が改正され、玄米中のカドミウム濃度の基準が1ppmから、0.4ppmとなった。一方、野菜については今回の改正には盛り込まれていないが、コーデックス委員会（国際的な食品の安全基準の規格化委員会）では野菜類についても葉菜類0.2ppmなどの基準が示されており、国では、今後、3年程度で規格基準化が検討される予定である。そのため、県内の畑土壌のカドミウム濃度の状況把握と県内主要作目への影響の検討をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	農業環境研究部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 土壌環境の変動要因解明と保全対策の確立 (1)適正施肥のための土壌環境モニタリング調査		
対応の内容等	県内土壌のカドミウム濃度の実態に関しては、「土壌環境の変動要因解明と保全対策の確立」の課題の下記の研究に取り組みます。 1 畑土壌カドミウム濃度の調査と過去データの解析による県内土壌のカドミウム濃度の現状把握 2 土壌カドミウム濃度データと土壌図の連携による県内土壌でのカドミウムの分布状況の把握 また、主要作物への影響に関しては、標記課題の中で、土壌条件の違いによる土壌中カドミウム動態（溶脱、吸着、作物吸収等）の把握のための試験を実施中です。 更に、主要作物のカドミウム形態別吸収特性や吸収特性の品種間差等については、他県データ等の各種情報提供を随時行います。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			